

マツダ オートザム AZ-1

日本 / 1992



89年東京モーターショーに初出品された、アウターパネルの張替えを可能とするコンセプトカーから発展した軽自動車のミッドシップスーパースポーツ。このモデルのシリーズ生産化については疑問視する声も多かったが、軽自動車の規格改定を経て、さらに2年後の'92年10月に遂に正式デビューを果たした。アビアランス上の最大の特徴は、なんといってもガルウィングドアであろう。同じ東京モーターショーには、他にグループC2カー風のモデルなども出品されたが、結局生産化されたのはこのミニスーパーカー風のボディのみであった。ミッドシップに横置き搭載され後輪を駆動するエンジンは、スズキから供給されるアルト・ワークスと共用のもの。直列3気筒DOHC12バルブ+ターボで660ccから64PSを発揮した。あまりにも強い個性と、ややトリッキーで乗り手を選ぶ操縦性が災いしてか、極めて短命に終わってしまった。ところが、現在では中古車市場で新車当時並みの高価格で取引される一方、多くがイギリスなど海外に流出し、彼地で貴重品扱いされるという珍現象も起きている。

AZ-1

エンジン

搭載位置	ミッドシップ横置
種類	ガソリン 4サイクル
冷却方式	水冷
シリンダー配置	直列
気筒数	3
バルブ形式	DOHC
排気量(cc)	657
最高出力(PS/rpm)	64/6500 (net)
最大トルク(mKg/rpm)	8.7/4000
燃料容量(Ltr.)	30

駆動方式

駆動方式	MR
変速機	5速MT フロア

シャシー

サスペンション 前	独立 マクファーソン ストラット コイル
サスペンション 後	独立 ストラット コイル
ブレーキ 前	ディスク サーボ
ブレーキ 後	ディスク サーボ
タイヤ	155/65R13

ボディー

構造	モノコック
ドア数	2
全長(mm)	3295
全幅(mm)	1395
全高(mm)	1150
車輻重量(kg)	720
乗車定員(名)	2

性能

最高速度(km/h)